

2026年度 事業計画書

一般社団法人 社会的価値共創フォーラム

I 2026年度事業概観

当法人は、価値創造の連鎖を未来につなげ真に持続可能な社会を創るため、産業・芸術・学術・行政の様々な分野・領域の垣根をこえ、それぞれの多様な見方・価値観を融合し、既存の見方や思考ではとらえきれない課題に気づき、課題解決を通じて新たな価値を生み出す『基盤（場）』を構築すること、そして新たな価値を創造できる人材の育成や研究も支援し、構築した基盤を未来につなげることに取り組んでいる。さらに構築した基盤を日本のみならずグローバルに拡大し、認知を高めて、政策・施策提言もできる新しい“産芸学官”連携の形として、世界の諸問題に解決策を提供できる枠組みにすることを目指して活動を行っている。

設立2年目を迎える2026年度は以下の内容について重点的に取り組むこととする。

1) 社会的価値創造活動の実施

社会的価値創造に向けた活動・基盤として、東京大学先端科学技術研究センター（以下「先端研」）と共催で「〈円融の集い場〉」を企画・運営・実施する。
（⇒詳細は〔1〕公益事業参照）

2) 本法人の安定的な運営

安定的な法人の運営のため、組織・体制整備や会員勧誘活動を行う。

- ・法要件や定款・各種規程に則った法人の運営と確実な運営のための組織・体制整備
- ・普及のベースとなるホームページの情報の拡充や使い勝手の向上
- ・活動の周知と賛同者の拡大を通じた会員の拡大

3) ネットワーキング活動

国内外問わず社会的価値やイノベーションに向けた共創を進めている組織等と、将来的な連携を目的とした情報交換や共同研究の可能性を探るネットワーキング活動を進める。

II 事業一覧

[1] 公益事業

〈円融の集い場〉

(1) 産芸学官 円融の対話

- ・ 様々な社会問題をテーマに、学術、産業、哲学や芸術など多様な分野から専門家を招聘し、シンポジウム形式で議論を実施。会員も聴講し、議論に参加。
- ・ 東京日本橋のホールや東京大学先端研（駒場キャンパス）等で開催。
- ・ 4月27日に「我々は分断を超えられるか～その先に何があるのか」をテーマに開催後、概ね2か月おきに企画。なお、公益社団法人 日本工学アカデミーとの連携が実現したことから、共催企画も実施。

(2) 青少年高野山会議の開催

- ・ 次世代育成のための多分野融合型教育（STEAM教育）を企画・実施。
- ・ 知性を深めるための各分野専門家によるセミナー（Academic）、感性を高める芸術を体感するプログラム（art）、知性と感性を融合し様々な課題・テーマを考え議論するプログラム（harmony）を期間中、毎月展開。
- ・ 現在、公募で集めた30歳未満の青少年約40名を対象に、2025年10月から2025年度プログラムを進めており、本年8月の高野山会議で行う発表で一連のプログラムを終了する。その後、新たに公募で集めた青少年を対象に、10月から2027年3月までの予定で2026年度のプログラムを展開する。なお、2026年度プログラム参加者の公募は、6月ころに行う。

(3) 総括会議「高野山会議」の開催

- ・ 2026年8月19～22日、高野山金剛峰寺・高野山大学などを会場に開催。
- ・ 期間中、複数のシンポジウム形式のセッションを設け、領域と世代を超えた対話を行う。
- ・ 現在進行する青少年高野山会議（2025年度プログラム）の成果発表を行う。
- ・ 知性と感性の融合を体感するため、芸術に触れるセッションも設ける。

[2] 収益等事業

実施予定なし

[3] 刊行物等

主にホームページを通した電子媒体での情報発信を行う。

- ・ 報告レポート（ホームページに掲載）
- ・ 産芸学官 円融の集い場、青少年高野山会議 Academic（セミナー）各回のアーカイブ（動画などを会員専用ホームページに掲載）

（2026 年 4 月 3 日作成）